

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公表番号】特表2015-518561(P2015-518561A)

【公表日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-042

【出願番号】特願2015-501847(P2015-501847)

【国際特許分類】

G 0 1 N	33/574	(2006.01)
G 0 1 N	33/48	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	51/00	(2006.01)
A 6 1 K	49/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/12	(2015.01)
A 6 1 K	49/04	(2006.01)

【F I】

G 0 1 N	33/574	Z N A D
G 0 1 N	33/574	A
G 0 1 N	33/48	P
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	49/02	A
A 6 1 K	49/00	C
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	49/04	A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年3月16日(2016.3.16)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 1 5】

例えば、有効用量は、投与の手段、標的部位、患者の生理的状態(年齢、体重、健康を含む)、患者がヒトであるか、それとも動物であるかということ、投与される他の医薬、及び治療が予防的なものであるか、それとも治療的なものであるかということによって異なり得る。通常、患者はヒトであるが、トランスジェニック哺乳動物を含む非ヒト哺乳動物を治療することもできる。治療投薬量は、安全性及び効力を最適化するように最適に漸

増される。